

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		生涯学習出前講座事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	高木敏明
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	甲斐朝子
	基本事業	67	学習・スポーツの啓発			所属班	生涯学習班	(内線)	1502
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	3
		1	10	5	1	10768		コスト削減優先度評価結果	11
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H10 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	市職員等が講師となって、地域の求めに応じ出前の説明、指導を行う。旧合志町が町政全般の啓発や、地域の生涯学習活動のきっかけづくりとして、平成10年度から開始された。依然として、体育指導委員による軽スポーツ教室の依頼が多く(全体の3割強)、次いで健康教室、交通安全教室が多い。
【業務の流れ】	市内在住または在勤、在学の5名以上のグループを対象に、地域での行事等の際に市職員等が講師となって、既定のメニューから選んでいただいた市の業務や各公的制度の説明、スポーツ実技指導等を行う。
【主な予算費目】	報償費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	もっと制度を周知して市民が利用しやすいようにするべきと、議員等からの意見があったため、ホームページ内での紹介と申請書様式の掲載を行っている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) / 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
軽スポーツ教室、健康な暮らし教室など延べ46講座を出前開催。	出前講座18メニューを申込みに合わせて開催。

④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)

⇒ ア 出前講座開催回数 回 イ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 (単位)

市民

⇒ ア 人口 人
イ

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) (単位)

市が行うさまざまな仕事を市民に理解してもらう。

⇒ ア 出前講座に参加した市民の数 人
イ

*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回	55	51	55	46	50	60	
	イ								
⑤ 対象指標	ア	人	53,500	54,000	54,500	54,525	55,000	55,500	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	人	2,000	2,522	2,600	2,845	2,700	2,800	
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	177	147	240	141	240	240
	(A) 事業費計	千円	177	147	240	141	240	240	0
		(A)のうち指定経費	千円						
		(A)のうち時間外、特勤	千円						
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
(B) 人件費	延べ業務時間	時間	56	56	56	80	80	80	
	(B)人件費計	千円	222	224	223	318	318	318	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	399	371	463	459	558	558	

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0
0
0
0

事務事業名	生涯学習出前講座事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷ 新型インフルエンザの蔓延等で申し込み数の減少、申し込み後の取り下げなどがあったため。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷ 市民団体からの問い合わせ・要望自体は多いため。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 出前講座を知らない団体も多いため。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷ 職員が勤務時間内に出向く場合は、業務としておこなっており、謝金は発生していないため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 職員が勤務時間内に出向く場合は、業務としておこなっており、謝金は発生していないため。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 実際に講師として実働するのは市役所各課の職員であり、人件費＝講師謝金であるので困難である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 同じ団体から、同じ講座又は異なる講座を数回依頼される場合があることから、一つの団体から年間依頼できる講座数を制限することでもっと多くの団体に活用してもらえるのではないか。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ 出前講座は、各課への申し込みを生涯学習課で一元化し、申し込み団体にわかりやすくしている。申し込み後の振り分けは当課が行い、依頼先がその後の段取りを行うため、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

21世紀のまちづくり教室5件、火災予防講座1件、救急法講座2件、軽スポーツ教室19件、健康な暮らし教室6件、福祉行政について1件、合志市の歴史と文化財について1件、交通安全教室6件、ごみの減量・リサイクル3件、消費生活講座1件、公共交通機関(環状バス)とユーパレス弁天施設に関する研修1件の計46件(延べ参加者2845人)開催。地区公民館活動や家庭教育学級からの申し込みがないため、22年度はさらなる周知を行う。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下		
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
出前講座メニューの見直しも必要である。